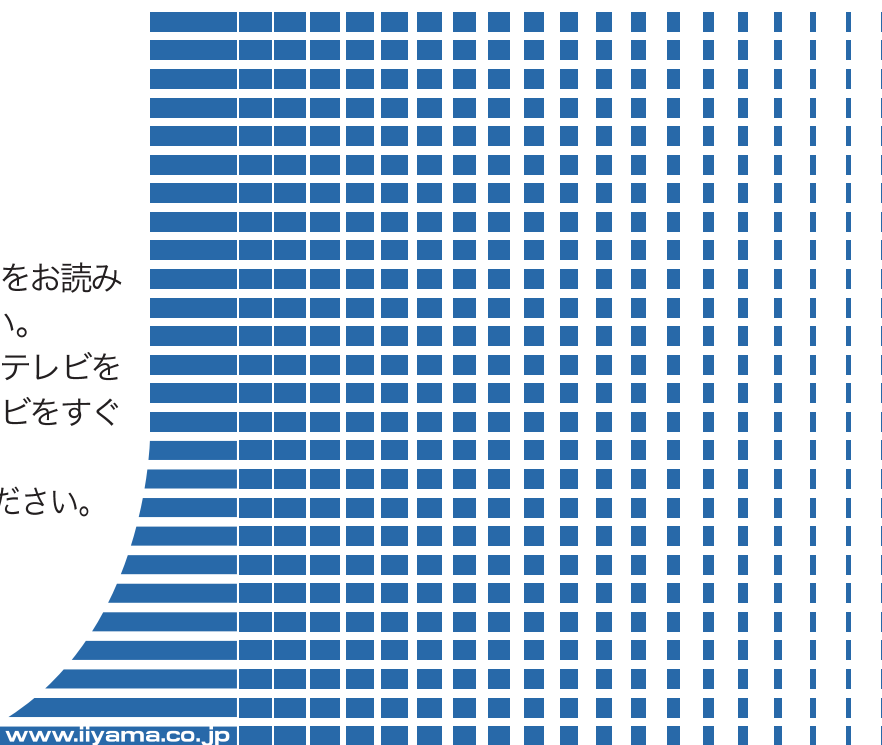
# 液晶テレビ

## PLC2010WTV

# 取扱説明書

**重要**

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
アンテナの接続，チャンネル設定等のテレビを使用するまでの準備は、別冊の「テレビをすぐ使う♪」をご覧ください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

## 警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

## 国外での使用禁止

本テレビは、日本国内仕様です。日本国外では放送方式，電源電圧が異なりますので使用できません。
This TV is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

## 著作権について

本テレビには、著作権保護技術を搭載しており、アメリカ特許（No.5,315,448とNo.6,836,549）や他の知的所有権によって保護されています。この著作権保護技術を使用するには、マクロヴィジョンコーポレーションの許可が必要です。
本テレビの解析や改造は禁止されています。

---


■ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
■ 本書に記載した会社名，商品名は、各社の商標または登録商標です。
■ 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。
■ 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

**愛情点検** 長年ご使用のテレビの点検を！

| ご使用の際このようなことはありませんか | ●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。<br>●キャビネットが異常に熱い。<br>●煙が出たり、こげくさい臭いがする。<br>●使用中に異常な音や振動などがある。<br>●その他の異常や故障がある。 | ⇒ | **ご使用を中止してください**<br>故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。<br>点検・修理に要する費用などは販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付にご相談ください。 |
|---|---|---|---|

# もくじ

# 安全にご使用いただくために

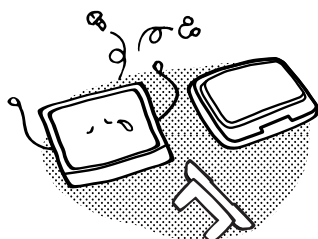
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

## ⚠警告

プラグを抜く

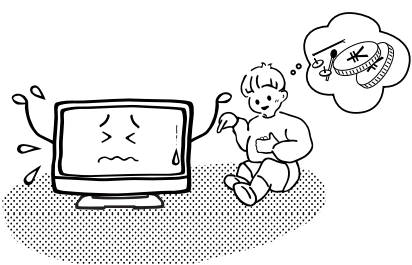
### 万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

---

分解禁止

### キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付にご依頼ください。

---

禁止

プラグを抜く

### 異物を入れない

テレビの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。

---

禁止

プラグを抜く

### 花びんやコップをテレビの近くに置かない

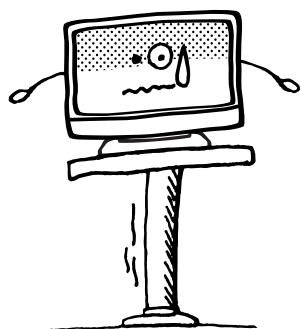
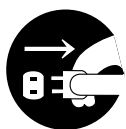
水やその他の液体、溶剤の入った容器をテレビの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。
万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。

---

接触禁止

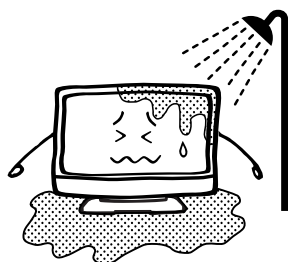
### 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

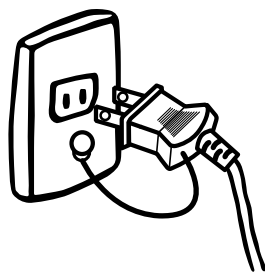
## ⚠ 警告

禁止

プラグを抜く

### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
平らで本体より大きく十分に強度がある安定した場所に置いてください。
万一、テレビを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
テレビ画面から漏れた液体（液晶）には触れないでください。万一液晶が目や口，皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに大量の流水で15分以上洗浄してください。飲み込んでしまった場合は、すぐに口をよく洗浄し、大量の水を飲ませてから吐き出させ、その後医師の手当てを受けてください。そのまま放置すると中毒を起こす恐れがあります。

---

### 水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

---

アースを接地する

### 電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

---

禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、テレビの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。
コードが傷んだらすぐに販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付に交換をご依頼ください。

---

## ⚠警告

指示に従う

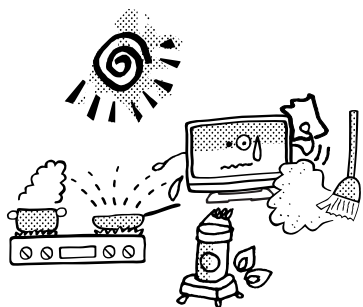
### 電源プラグは定期的に掃除をする

電源プラグにほこりがたまったまま使用を続けると火災や感電の原因となります。
コンセントから抜き、乾いた布で定期的に拭いてください。

指示に従う

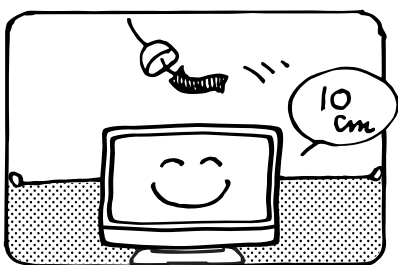
### 電源プラグは根元まで差し込む

確実に差し込まれていないと火災や感電の原因となります。

## ⚠注意

禁止

### 置き場所を選ぶ

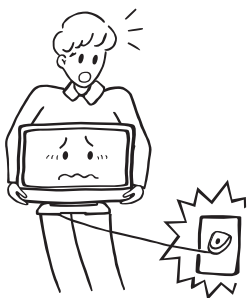
次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く

禁止

### 通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

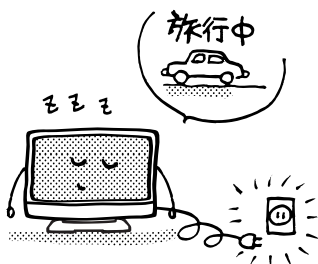
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、テレビは周囲から10cm以上離して置いてください。

禁止

### 移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。また、テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。

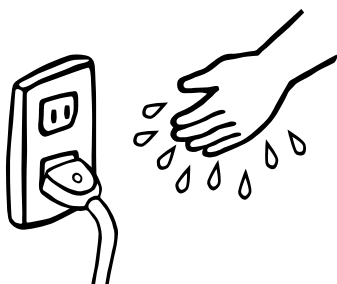
# ⚠注意

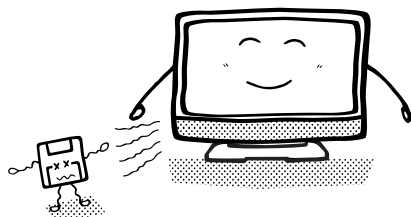
## テレビに乗ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりしない

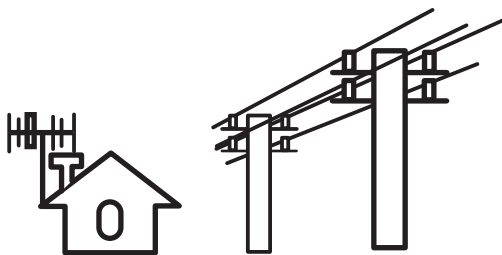
倒れたり、落ちたりしてけがの原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

## 旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

## プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

## ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

## スピーカーにフロッピーディスクなどを近づけない

スピーカーは磁気を発生するため、磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。

## アンテナの設置は販売店にご相談ください

室外アンテナを取り付けるときは、電線と接触しないように電線から離れた場所に設置してください。アンテナが電線に接触すると、感電の原因となります。

また、突風や嵐が起こった場合でも、アンテナが倒れたり飛ばされたりしないように、しっかりと固定してください。アンテナの損傷・破損・故障の原因となります。

## 正しくご使用いただくために

### 目を大切に

使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

## 故障ではありません

■ お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合がありますが、故障ではありません。画面位置を正しく調整してご使用ください。

■ ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがありますが、故障ではありません。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。

■ 液晶テレビは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがありますが、故障ではありません。

■ 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。

■ 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像（焼き付きのような症状）が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
・画面の表示パターンを変える。
・数時間電源を切っておく。

■ 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付までお問い合わせください。

# ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

## 特長

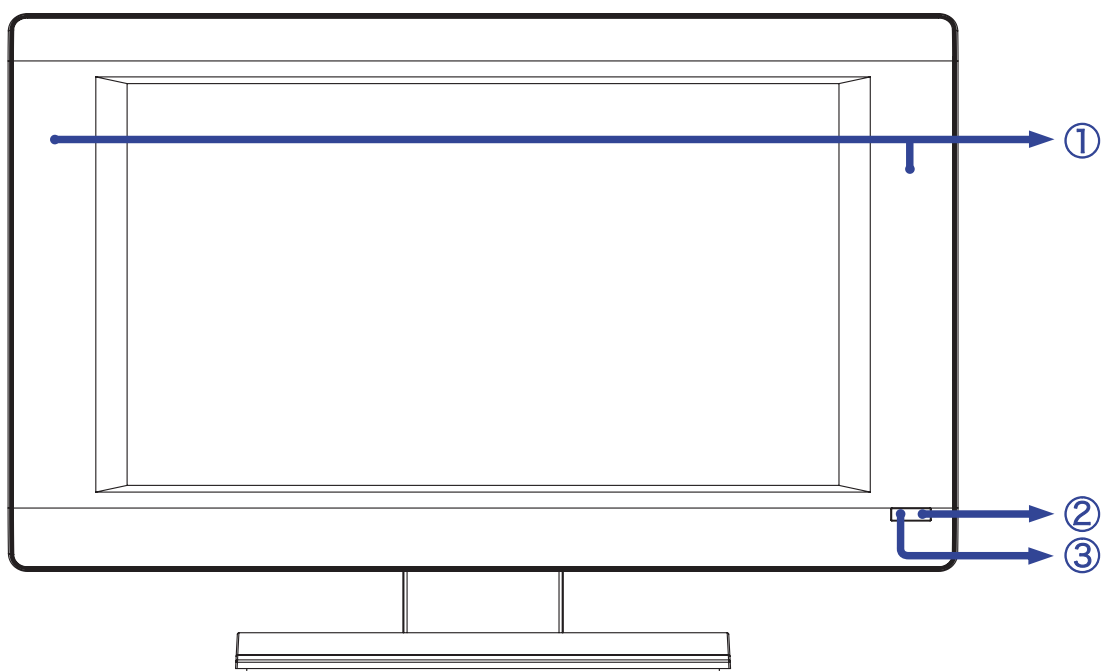
◆ 20.0インチ TFTカラー液晶テレビ
◆ 地デジチューナー搭載
◆ 鮮明な画像を実現するデジタル入力（HDMI）対応
◆ デジタルハイビジョン機器接続を可能にするD4端子
◆ 多彩なVIDEO系入力をサポート
◆ 広視野角/高コントラスト/高輝度パネル採用
◆ デジタルスムージング機能搭載
◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B対応（PC入力時）
Windows® 95/98/2000/Me/XP対応
◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能搭載（PC入力時）
◆ ステレオスピーカー（3W+3W）

## 標準付属品

テレビ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

■ 電源コード ※
■ コンピュータ用オーディオケーブル
■ 単4形乾電池×2
■ 取扱説明書/保証書（本書）
■ D-SUB信号ケーブル
■ リモコン
■ B-CASカード

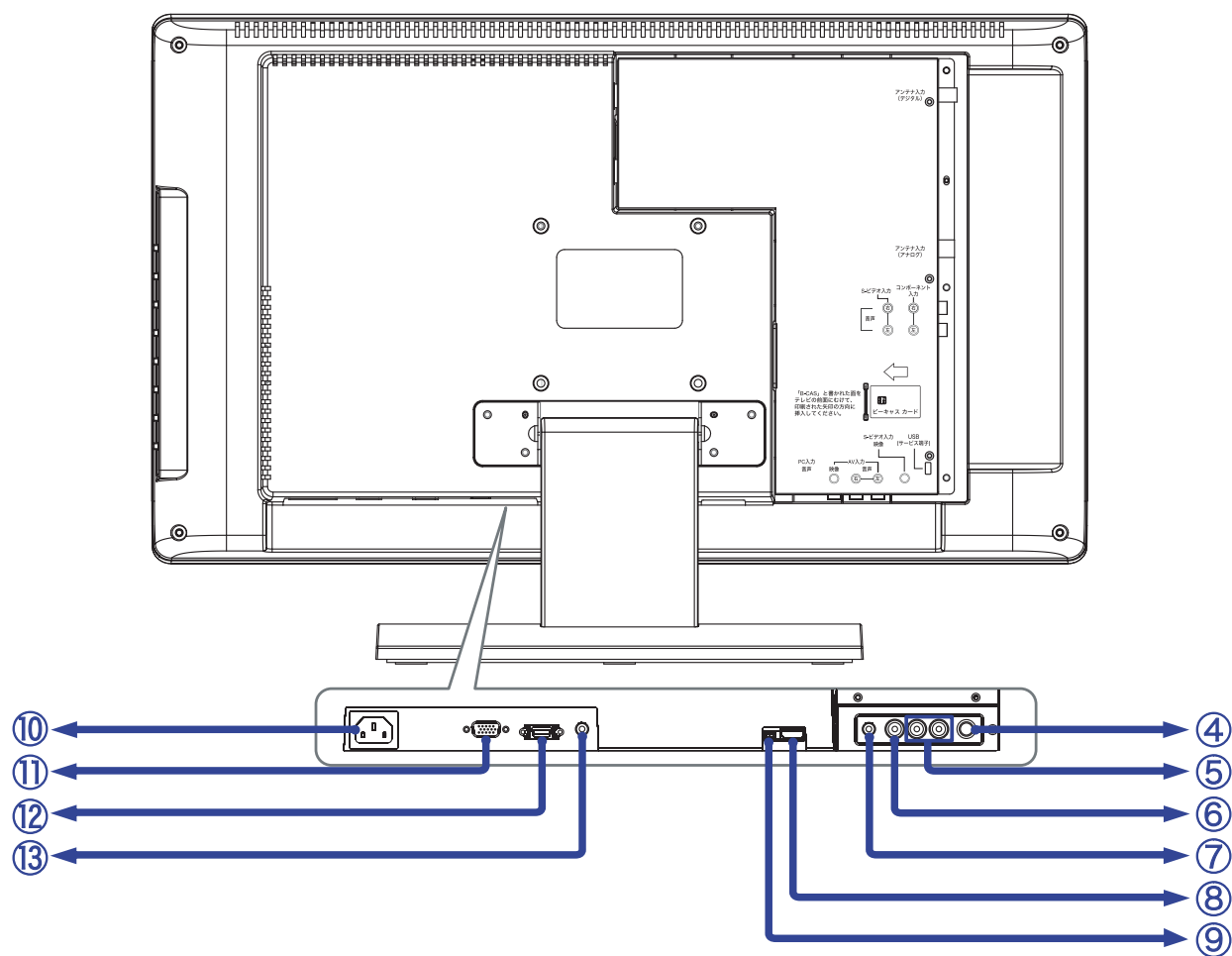
補足 ※ 1.次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。
■付属以外の電源コードをお使いになる場合
2.付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。

# 各部のなまえ

前面

① スピーカー

② 電源インジケータ

補足　緑色点灯：通常動作時
　　　赤色点灯：スタンバイ時

③ リモコン受光部

**後面**

④ Sビデオ入力端子（S-ビデオ入力映像）

⑤ AV用オーディオ入力端子（AV入力音声 右/左）

⑥ AV用入力端子（AV入力映像）

⑦ コンピュータ用音声入力端子（PC入力音声）

⑧ HDMI接続コネクタ（HDMI入力）

⑨ 工場用端子

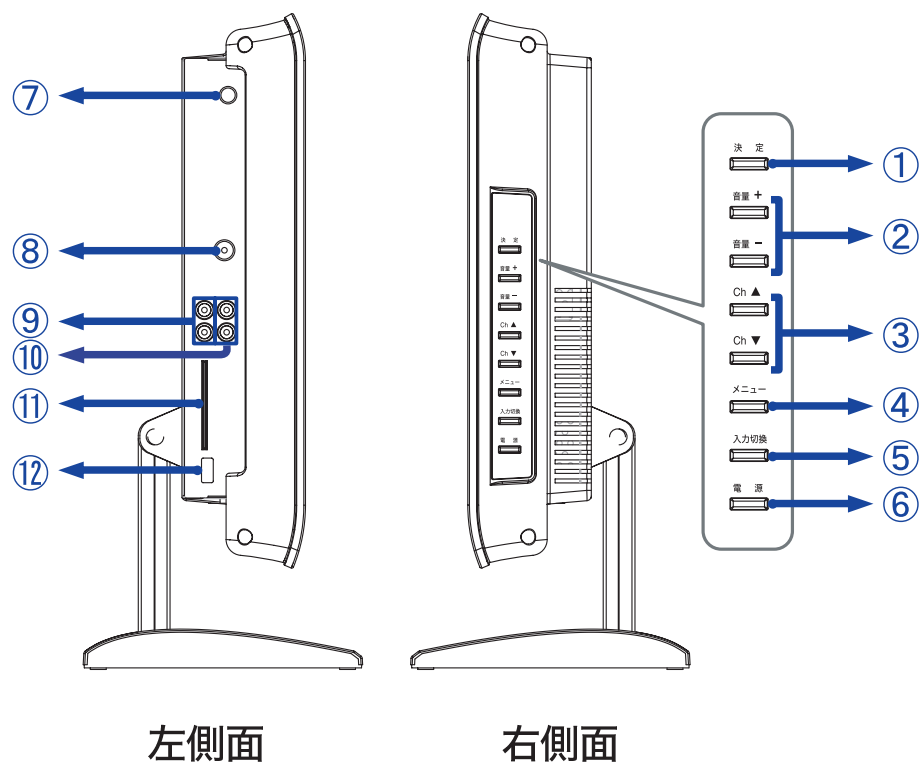
補足 一般の機器を接続しないでください。

⑩ 電源コード接続コネクタ（AC入力）

⑪ D-SUBミニ15ピンコネクタ（PC入力映像）

⑫ D4映像入力端子（コンポーネント入力D4映像）

⑬ ヘッドフォン端子（ 🎧 ）

補足 ヘッドフォンはφ3.5mmミニプラグ品を使用してください。端子変換アダプタ等は、形状により使用できない場合があります。

① 決定ボタン（決定）

② 音量調整ボタン（音量 ＋／−）

③ チャンネル選局ボタン（Ch ▲／▼）

④ メニューボタン（メニュー）

⑤ 入力切換ボタン（入力切換）

⑥ 電源ボタン（電源）

⑦ 地上デジタル放送用アンテナ端子（アンテナ入力 デジタル）

⑧ 地上アナログ放送用アンテナ端子（アンテナ入力 アナログ）

⑨ Sビデオ用オーディオ入力端子（S-ビデオ入力音声 右／左）

⑩ D4用オーディオ入力端子（コンポーネント入力音声 右／左）

⑪ B-CASカードスロット（ビーキャスカード）

⑫ 地上デジタルチューナーファームウェア書き換え用USBポート（USBサービス端子）

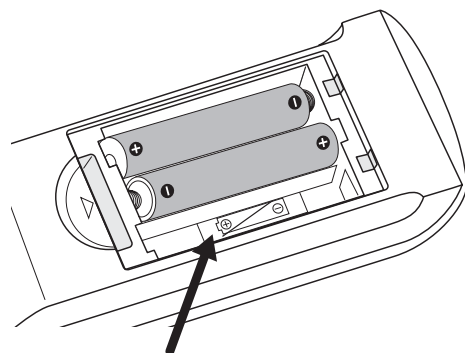
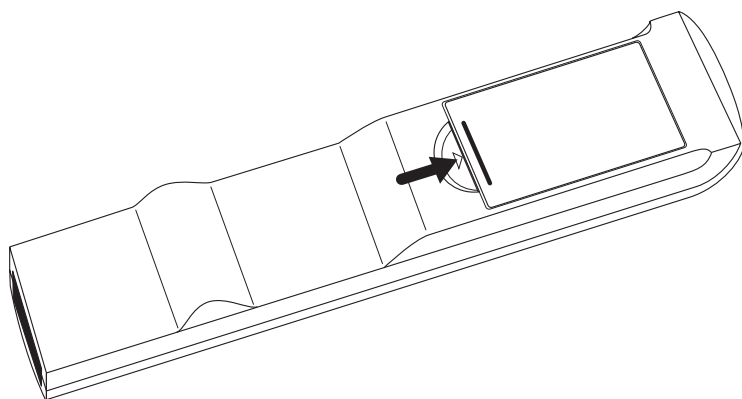
補足 一般のUSB機器は使用できません。

## リモコンについて

⚠ **注意** リモコンに指定以外の電池や、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。また、リモコンに電池を入れるときは、極性表示（プラスとマイナス）に従って正しく入れてください。電池が破裂したり液もれすることにより、火災やけが、周囲を汚損する原因となることがあります。

補足
- ■ リモコンをテレビの近くで操作しても動作しなくなったら、電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。使用電池は単4形乾電池です。
- ■ リモコンはテレビ本体のリモコン受光部の正面から約4mの範囲内で、リモコン受光部に向けて操作してください。
- ■ リモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しなくなる場合があります。テレビ本体や照明の向きを変えてみてください。
- ■ 市販のリモコンは使用できません。必ず付属のリモコンをご使用ください。

### ● 電池を入れる

1. リモコンの▶印の奥を矢印の方向に押して、電池カバーを取り外します。
2. 極性を間違えないように、電池を入れます。（単4形乾電池 2本）
3. 電池カバーを取り付けます。

この場所には電池を入れないでください。
（⊕⊖）

① 地上A
地上アナログ放送に切り換えます。

② 地上D
地上デジタル放送に切り換えます。

③ ビデオ
ビデオ系の入力ソースに切り換えます。ボタンを押すたびに次のように切り換ります。

→コンポーネント → AV →HDMI → Sビデオ

④ 画面表示
アナログTV/デジタルTV入力時、次の情報を画面に表示します。

■アナログTV入力時： 入力ソース，チャンネル番号
■デジタルTV入力時：入力ソース，チャンネル番号，番組名，放送局名
■その他の入力時： 入力ソース

⑤ PC
PC入力に切り換えます。

⑥ 自動調整（PC入力時のみ）
フェーズ，クロック，位置調整の項目を自動で調整します。

⑦ 映像設定
映像モードを切り換えます。ボタンを押すたびに次のように切り換ります。

→標準 →鮮やか → スポーツ → 風景

⑧ メニュー
メニューページ表示のオン/オフをします。

⑨ 音量（＋大／－小）
音量を調節します。

⑩ サイズ
表示されている画面のサイズを選択します。ボタンを押すたびに次のように切り換ります。

■PC，コンポーネント，デジタルTV，HDMI
→ノーマル → フル

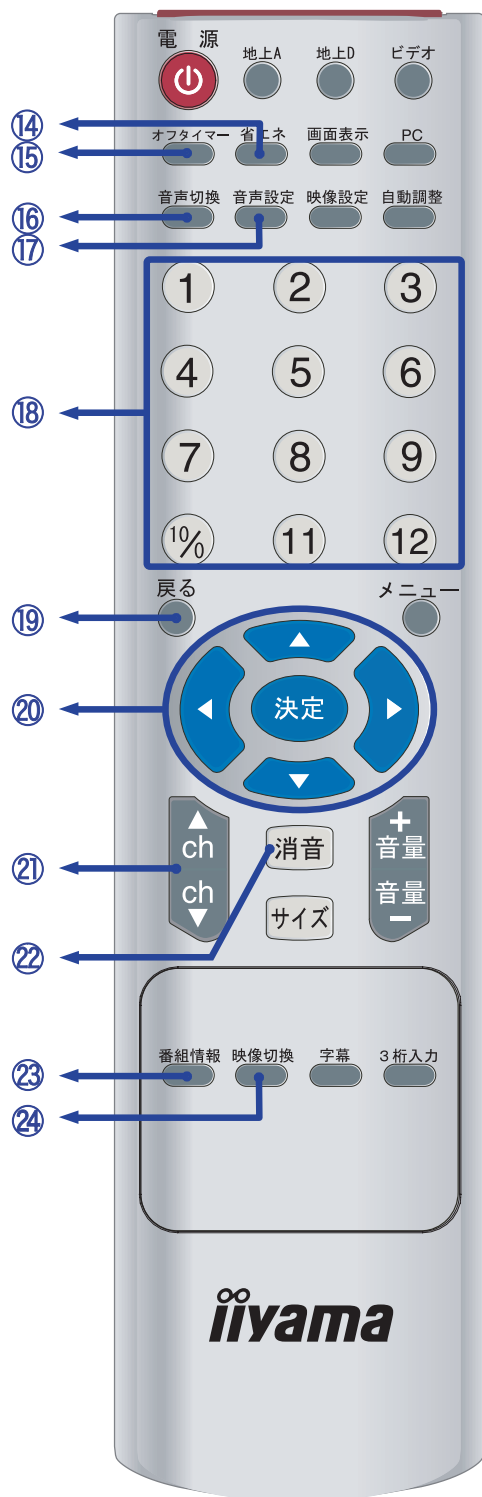
■アナログTV，AV，Sビデオ
→ノーマル → ワイド → フル

⑪ 3桁入力（デジタルTV入力時のみ）
地上デジタル放送のチャンネル入力時に使用します。

⑫ 字幕（デジタルTV入力時のみ）
字幕表示機能のオン/オフ及び言語の選択をします。

⑬ 電源
電源のオン/オフをします。

補足 ①,②,③,⑤,⑧,⑨,⑬についてはP.17～の「基本の操作」を参照してください。

補足 ⑱,⑳,㉑についてはP.17～の「基本の操作」を参照してください。

⑭ 省エネ（エコノミーモード）

バックライトの明るさを切り換えてテレビの消費電力を抑えることができます。
ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

→明→暗→オフ→

補足 明　：明るい
暗　：暗い
オフ：バックライトオフ
オフにすると画面が真暗になります。元に戻すにはもう一度省エネボタンを押してください。

⑮ オフタイマー

電源を自動的に切れるようにタイマーを設定します。
（オフ，30，60，90，120分）

⑯ 音声切換

アナログTV/デジタルTV入力時の音声システムを選択します。ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

**ステレオ放送受信時**
（アナログTVのみ）
→モノラル→ステレオ→

**音声多重放送受信時**
→主→主/副→副→

補足 モノラル：強制的にモノラルにします。
ステレオ：ステレオにします。
主　：主音声を出力します。
主/副　：主音声（左）と副音声（右）を同時に出力します。
副　：副音声を出力します。

⑰ 音声設定

音場設定を切り換えます。ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

→標準→音楽→アナウンス→ジャズ→ライブ→映画→

⑱ テレビチャンネル

チャンネル選局をします。
各種設定の数字入力でも使用します。

⑲ 戻る

1つ前のメニューページに戻ります。

⑳ ▲／▼／◀／▶

カーソルを上下左右に移動させます。

決定

調整内容や選択した項目を確定します。

㉑ ch（▲／▼）

チャンネルを選局します。

㉒ 消音

音声を一時的に消します。消音時は、🔇 が表示されます。再度ボタンを押すと元の音量に戻ります。

㉓ 番組情報（デジタルTV入力時のみ）

視聴中の番組の詳細情報を表示します。

㉔ 映像切換（デジタルTV入力時のみ）

デジタル放送の主・副映像を選びます。

# テレビの設置

平らで本体より大きく十分に強度がある安定した場所に置いてください。

補足　P.1の「安全にご使用いただくために」を参照してください。

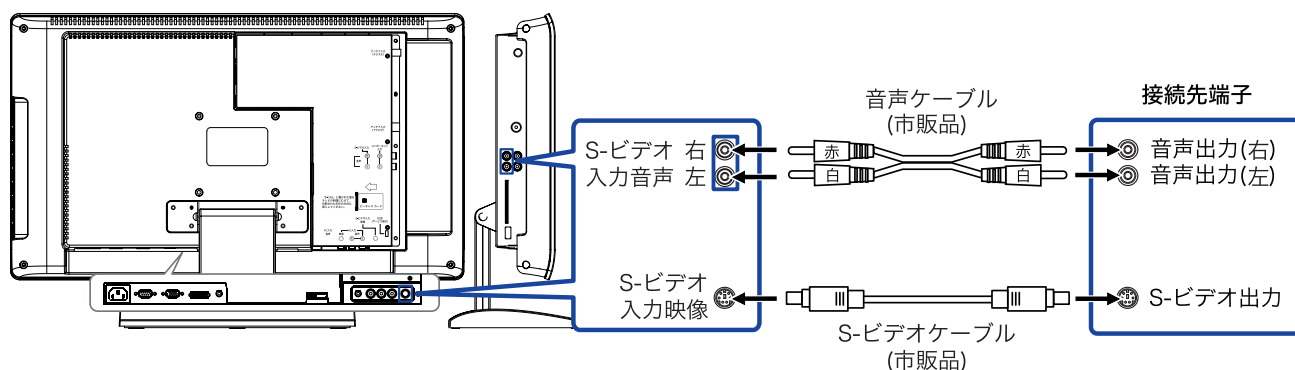
# 周辺機器との接続

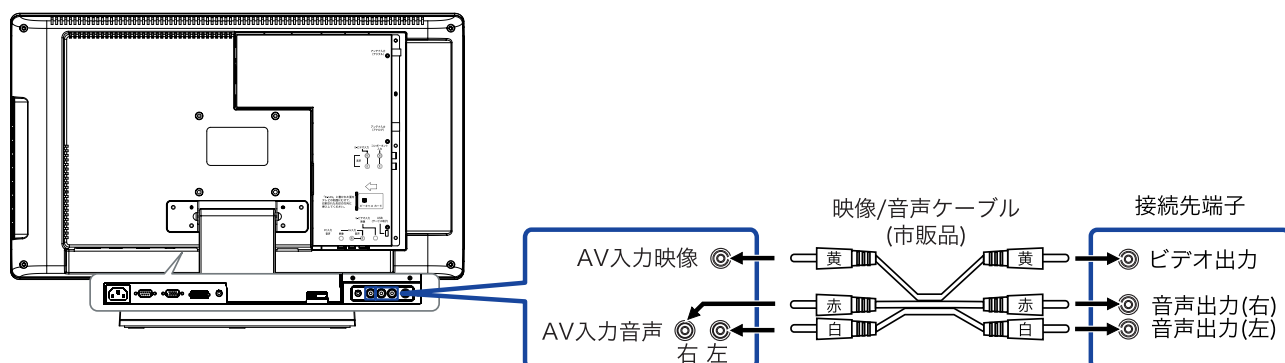
⚠注意　周辺機器への接続を行う場合は、テレビと周辺機器の電源プラグを必ずコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

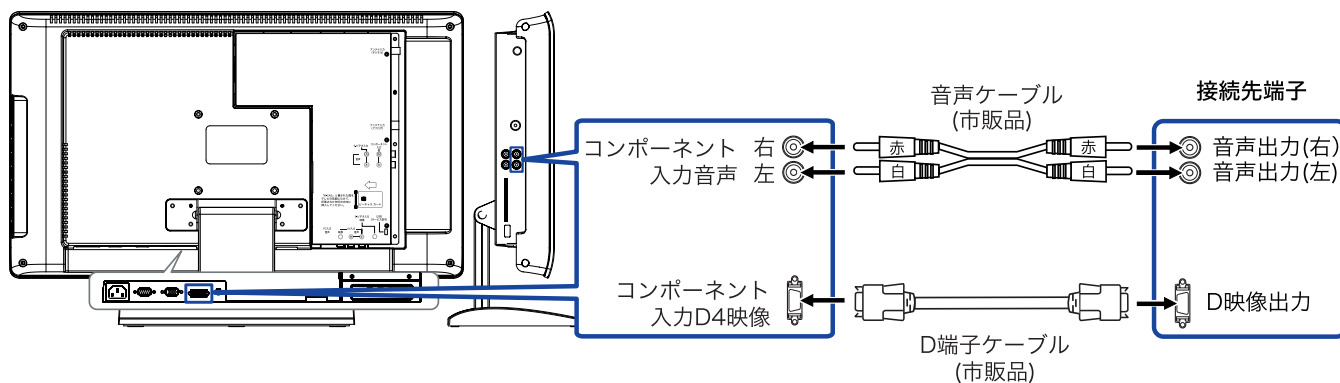
補足
- ■ 周辺機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- ■ 必要に応じて下記（市販品）をご用意ください。
  ・S-ビデオケーブル　・D端子ケーブル　・HDMI-DVIケーブル　・HDMIケーブル
  ・ビデオケーブル　　・オーディオケーブル
- ■ テレビ底面のコネクタに接続する時は、コネクタ部が良く見えるように、テレビ画面を下側にして伏せて行ってください。その際に液晶パネルを傷つけないために、平らな場所にやわらかい布等を敷いて行ってください。

## AV機器（ビデオ・DVD・ゲーム機等）との接続

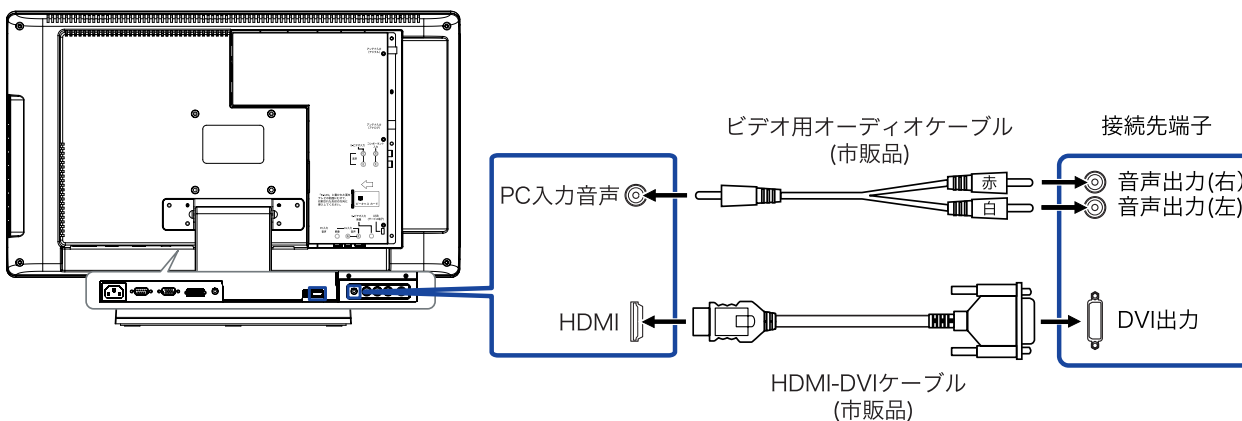
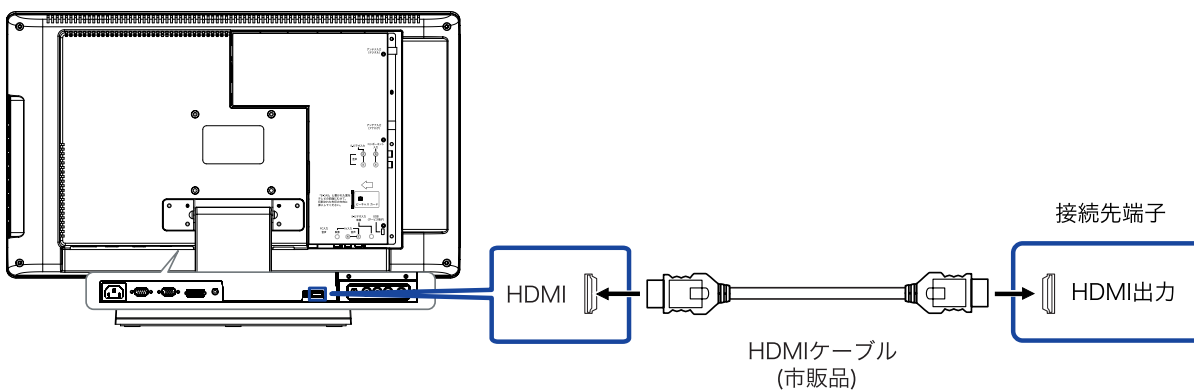
### ■ S-VIDEO入力：S-ビデオ出力端子の付いたAV機器との接続

（ビデオデッキ・テレビゲーム機・DVDプレーヤー・ビデオカメラ・デジタルチューナー　など）

### ■ AV入力：ビデオ出力端子の付いたAV機器との接続

（ビデオデッキ・テレビゲーム機・DVDプレーヤー・ビデオカメラ・デジタルチューナー　など）

## ■ コンポーネント入力：D映像出力端子の付いたAV機器との接続

（テレビゲーム機・DVDプレーヤー・ビデオカメラ・デジタルチューナー　など）

## ■ HDMI入力：HDMI出力端子の付いたAV機器との接続

（DVDプレーヤー　など）　※・HDMIには2種類の接続方法があります。
・PCからのHDMI信号には対応していません。
・音声入力の選択は、P. 23の「音声調整」を参照してください。

・HDMI-DVI接続端子

・HDMI接続端子

● 周辺機器との接続が完了してから、電源コードを接続します。

# コンピュータとの接続

**⚠ 注意**

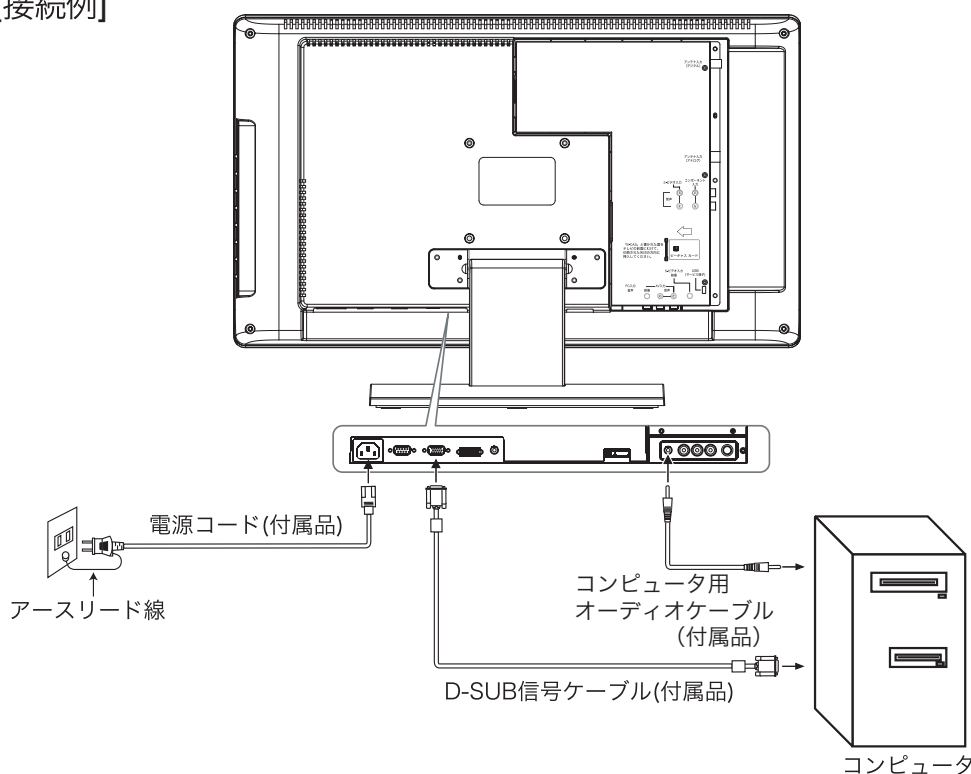
- ■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとテレビやコンピュータの故障の原因となることがあります。
- ■ 周辺機器への接続を行う場合は、テレビと周辺機器の電源プラグを必ずコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

## 接続手順

1. テレビおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
2. 台の上にやわらかい布を敷いて、その上にテレビ画面を下側にして伏せます。

   補足 テレビ底面のコネクタが良く見えるようにするためです。また、液晶パネルを傷つけないためにやわらかい布を使用してください。
3. 信号ケーブルをコンピュータに接続します。

   補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。
4. オーディオ機器を使用する場合は、コンピュータ用オーディオケーブルをテレビとコンピュータのオーディオ機器に接続します。
5. テレビ本体の電源コード接続コネクタに電源コードを接続し、電源コードをコンセントに接続します。
6. テレビを起こして布を取り外します。

[接続例]

## 画面の角度調節

注意

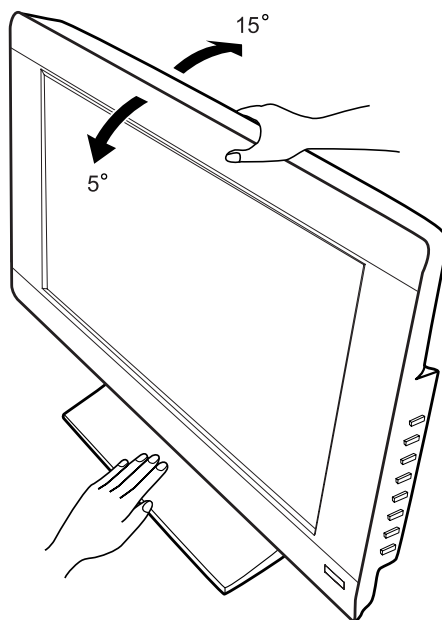
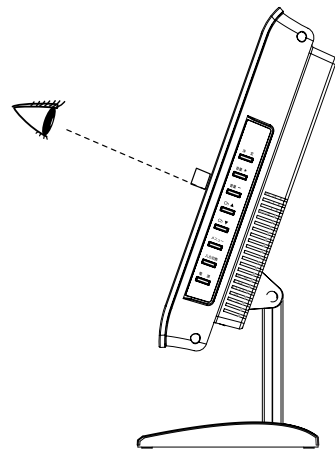
■ 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。

■ 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

■ テレビは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。

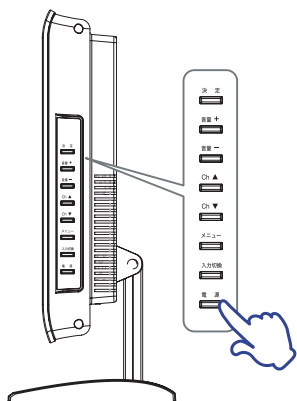
■ 角度調節の際は、倒れないようにスタンド部を必ず押さえてください。

■ 調節範囲は上方向15°、下方向5°です。

■ 画面の角度は10°以内にすると目の疲れ等なく、最適に使用することができます。傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。

# 基本の操作

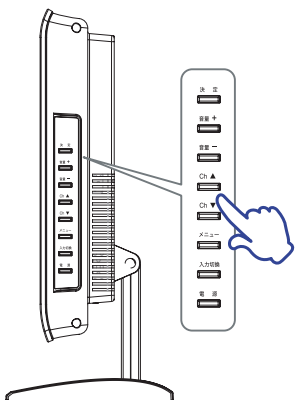
## ■ 電源を入れる

電源コードをコンセントに接続すると電源インジケータが赤色になり、スタンバイ状態になります。電源ボタンを押すと電源がONになり、電源インジケータは緑色になります。

【テレビ本体】電源ボタンを押す。

【リモコン】電源ボタンを押す。

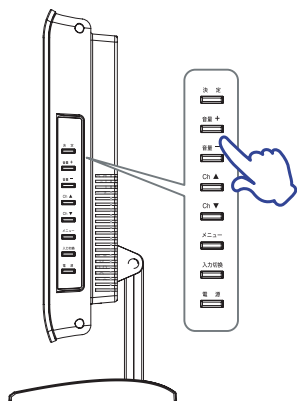
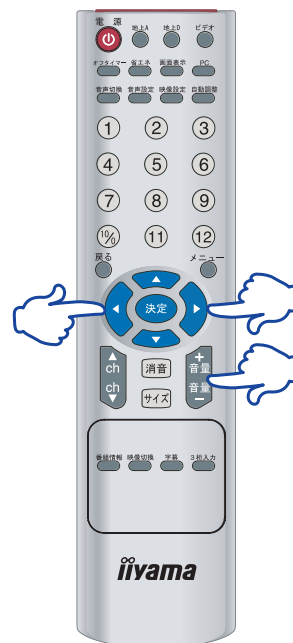
## ■ カーソルを上下に移動させる

画面にメニューページが表示されているとき、チャンネル選局▲／▼ボタン（テレビ本体）または▲／▼ボタン（リモコン）で調整項目を選択します。

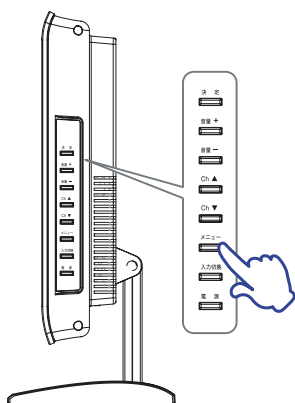
【テレビ本体】チャンネル選局▲／▼ボタンを押す。

【リモコン】 ▲／▼ボタンを押す。

## ■ 音量を調整する、カーソルを左右に移動させる

画面にメニューページが表示されていないときに音量調整＋／－ボタンを押すと、スピーカーの音量を調整することができます。
画面にメニューページが表示されているときは、音量調整＋／－ボタンまたは◀／▶ボタンを押すとメニューや設定を選択したり、調整を行うことができます。

【テレビ本体】音量調整＋／－ボタンを押す。

【リモコン】音量：音量調整＋／－ボタンを押す。
カーソル：◀／▶ボタンを押す。

## ■ メニューページを表示させる

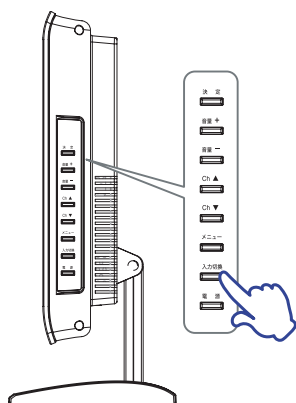
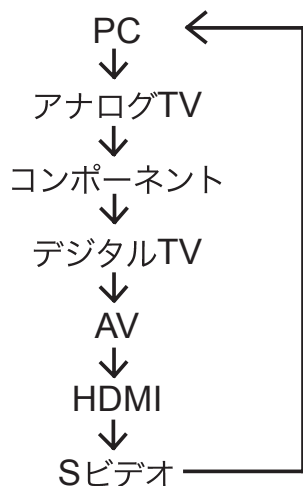
画面にメニューページが表示されていないときにメニューボタンを押すと、メニューページを表示します。再度ボタンを押すとメニューページが消えます。

【テレビ本体】メニューボタンを押す。

【リモコン】メニューボタンを押す。

## ■ 入力ソースを切り換える

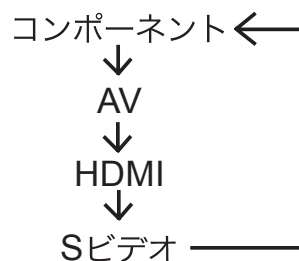
画面にメニューページが表示されていないときに入力ソースを切り換えます。

【テレビ本体】入力切換ボタンを押す。

● 入力切換ボタン（テレビ本体）を押すたびに次のように切り換ります。

【リモコン】地上Aボタン，地上Dボタン，ビデオボタンまたはPCボタンを押す。

● 地上Aボタンを押すと、アナログTV（地上アナログ放送）入力に切り換ります。

● 地上Dボタンを押すと、デジタルTV（地上デジタル放送）入力に切り換ります。

● ビデオボタンを押すと、ビデオ系入力に切り換ります。ボタンを押すたびに次のように切り換ります。

● PCボタンを押すと、PC入力に切り換ります。

## ■ チャンネルを選ぶ

● 地上アナログ放送

アナログTV入力時、画面にメニューページが表示されていないときに、下記の操作でチャンネルを選ぶことができます。

＜プリセットモード時＞

・チャンネル選局▲／▼ボタン（テレビ本体）またはch▲／▼ボタン（リモコン）で、1～12ボタンに割り当てたチャンネルが選べます。

・リモコンのチャンネルボタンで、それぞれのボタンに割り当てたチャンネルが表示できます。

＜ch番号モード時＞

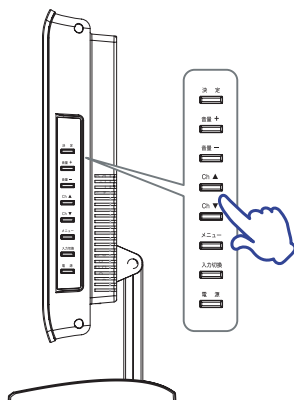
・チャンネル選局▲／▼ボタン（テレビ本体）またはch▲／▼ボタン（リモコン）で、スキップをOffに設定したチャンネルが選べます。

・リモコンのテレビチャンネルボタン（1～10）でチャンネル番号を入力して選択することもできます。
例えば、34チャンネルを選びたい時は、リモコンのテレビチャンネルを ③④と押します。

● 地上デジタル放送

デジタルTV入力時は、画面にメニューページが表示されていないときに、チャンネル選局▲／▼ボタン（テレビ本体）またはch▲／▼ボタン（リモコン）で、1～12チャンネルと設定（追加）したチャンネルを選択するかリモコンのテレビチャンネルボタンで、1～12チャンネルが選択できます。

また3桁入力ボタンを押し、リモコンのテレビチャンネルボタン（1～10）で、3桁のチャンネル番号を入力して選択することもできます。

【テレビ本体】チャンネル選局▲／▼ボタンを押す。

【リモコン】 ch▲／▼ボタン、テレビチャンネルボタンを押す。

# 操作手順

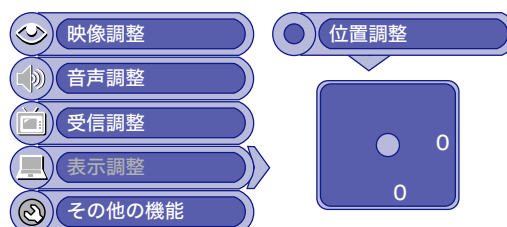
## 画面操作手順

最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、調整が必要な場合は次の手順に従ってボタン操作を行ってください。

**まず、調整・設定を行いたい入力ソースに切り換えます。P.19の「入力ソースを切り換える」を参照してください。**

1. メニューボタンを押すと画面にメニューページが表示されますので、▲／▼ボタンで調整ページアイコンを選択します。
2. 決定ボタンを押し、カーソルを調整項目へ移動させます。

3. ◀／▶／▲／▼ボタンを使って調整や設定を行っていきます。

   例えば、パソコン入力時に「画面位置」を調整したいときは、まずメニューボタンを押し、表示調整を選択し、決定ボタンを押してカーソルを移動させます。▲／▼ボタンを押して「位置調整」を選択し、決定ボタンを押してカーソルを移動させます。◀／▶ボタンで水平位置、▲／▼ボタンで垂直位置をお好みによって調整します。

4. 次の調整を行う場合は、メニューボタン（テレビ）または戻るボタン（リモコン）を押して前の画面に戻り、次の調整を行います。

補足

■ 調整中にボタン操作を中止すると、数秒後にオンスクリーン表示が消えます。また、リモコンのメニューボタンを押すとオンスクリーン表示が消えます。

■ オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を切らないでください。

## 調整メニューの内容

言語選択（LANGUAGE）で日本語を選択した場合を上段、英語を選択した場合を下段にて記載しています。

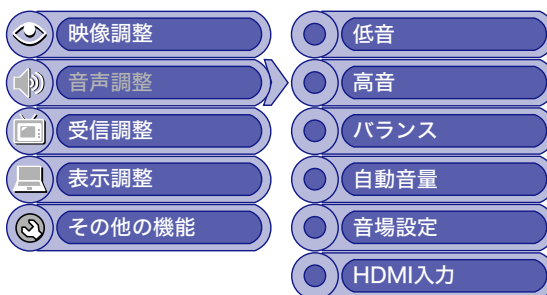
**映像調整**
Picture Control
(対応入力：PC/アナログTV/コンポーネント/デジタルTV/AV/HDMI/Sビデオ)

- 映像調整
- 音声調整
- 受信調整
- 表示調整
- その他の機能

- 映像モード
- 明るさ
- 映像
- 色あい
- 色の濃さ
- 画質
- カラー調整
- フルスクリーン

| 調整項目 | 画面の状態 / 調整ボタン | | |
|---|---|---|---|
| 映像モード *1<br>Video Mode | 標準 | 標準的な映像表示に設定します。 | |
| | 鮮やか | 色鮮やかな映像表示に設定します。 | |
| | スポーツ | 芝生や空の色を強調した映像表示に設定します。 | |
| | 風景 | 木の葉や海などの自然の色を強調した映像表示に設定します。 | |
| 明るさ<br>Brightness | 暗すぎる | | ▶ |
| | 明るすぎる | | ◀ |
| 映像<br>Contrast | 弱すぎる | | ▶ |
| | 強すぎる | | ◀ |
| 色あい *1,2<br>Tint | 色が緑がかっている | | ▶ |
| | 色が紫がかっている | | ◀ |
| 色の濃さ *1<br>Saturation | 色が薄い | | ▶ |
| | 色が濃い | | ◀ |
| 画質<br>Sharpness | 画面がボケている | | ▶ |
| | 画面がザラザラしている | | ◀ |
| カラー調整<br>Color Control | 赤っぽい | やや赤みがかったホワイト | |
| | 標準 | 標準ホワイト | |
| | 青っぽい | やや青みがかったホワイト | |
| | ユーザー | 赤<br>緑<br>青 | 弱すぎる ▶<br>強すぎる ◀ |
| フルスクリーン<br>Full Screen | ノーマル | 映像の縦横比率を4：3で表示します。 | |
| | フル | 映像の縦横比率を16：9で表示します。 | |
| | ワイド *3 | 画面中央付近の縦横比率を保った状態で拡大します。 | |

*1 PC入力時は対応していません。
*2 HDMI入力時は対応していません。
*3 アナログTV/AV/Sビデオ入力のみ対応しています。

**音声調整**
**Sound Control**
(対応入力：PC/アナログTV/コンポーネント/デジタルTV/AV/HDMI/Sビデオ)

| 調整項目 | 画面の状態 / 調整ボタン | |
|---|---|---|
| 低音 *<br>Bass | 弱すぎる<br>強すぎる | ▶<br>◀ |
| 高音 *<br>Treble | 弱すぎる<br>強すぎる | ▶<br>◀ |
| バランス<br>Balance | 右スピーカーの音量を大きくする<br>左スピーカーの音量を大きくする | ▶<br>◀ |
| 自動音量<br>Auto Volume | Off | 入力信号の音量そのままで出力します。 |
| | On | 入力信号のレベル差を自動的に補正します。 |
| 音場設定<br>Sound Field | 標準 | 標準的な音質に設定します。 |
| | 音楽 | ポップ系の音楽に最適な音質に設定します。 |
| | アナウンス | ニュースやインタビューに最適な音質に設定します。 |
| | ジャズ | ジャズ系の音楽に最適な音質に設定します。 |
| | ライブ | コンサートなどに最適な音質に設定します。 |
| | 映画 | 映画に最適な音質に設定します。 |
| HDMI入力<br>HDMI Input<br>(HDMIのみ対応) | HDMI | 音声入力をHDMIに切り換えます。 |
| | Miniジャック | 音声入力をPCに切り換えます。 |

* 音場設定が標準以外の時には、調整できません。

## 受信調整
## Channel Setup
(対応入力：アナログTV)

**地上アナログ放送用**

映像調整
音声調整
受信調整
表示調整
その他の機能

地域コード
自動選局
バンド選択
受信チャンネル
スキップ
微調整
表示名
選局方法
プリセット

| 調整項目 | 画面の状態 / 調整ボタン | |
|---|---|---|
| 地域コード<br>Area Code<br>別冊「テレビをすぐ使う♪」を参照 | 地域コードを入力してチャンネルを設定します。 | |
| 自動選局<br>Auto Store<br>別冊「テレビをすぐ使う♪」を参照 | チャンネルを自動検索します。 | |
| バンド選択<br>Band | アンテナ | 地上放送のチャンネルを選局します。 |
| | CATV | ケーブルテレビ放送のチャンネルを選局します。 |
| 受信チャンネル<br>Channel | 受信するチャンネルを選択します。 | |
| スキップ *1<br>Skip<br>別冊「テレビをすぐ使う♪」を参照 | チャンネルを自動検索すると電波の弱いチャンネル等、必要のないチャンネルも設定されてしまいます。ch▲／▼ボタンでの切り換えをしやすくするために受信チャンネルを映す（スキップ オフ）または映さない（スキップ オン）を設定します。 | |
| | On | チャンネルを映さない。 |
| | Off | チャンネルを映す。 |
| 微調整<br>Fine | 電波の状況により画像が乱れるときに、選択した受信チャンネルの周波数を微調整します。 | |
| 表示名<br>Channel Name<br>別冊「テレビをすぐ使う♪」を参照 | チャンネル切り換え時、画面に表示されるチャンネル名を設定できます。 | |
| 選局方法<br>Tuning Mode | Ch番号 | 放送されているチャンネル番号で選局できるようにします。 |
| | プリセット | 「プリセット」で設定したチャンネルを選局できるようにします。 |
| プリセット *2<br>Channel Preset<br>別冊「テレビをすぐ使う♪」を参照 | リモコン番号 | 設定したいテレビチャンネルボタンの番号を選択します。 |
| | CH No | 設定したい受信チャンネルを選局します。 |

*1 選局方法で、Ch番号を選択した時に設定できます。
*2 選局方法で、プリセットを選択した時に設定できます。

## デジタルTVメニュー：ユーザー設定
(対応入力：デジタルTV)

**地上デジタル放送用**

<table>
<tr><th>調整項目</th><th colspan="3">画面の状態 / 調整ボタン</th></tr>
<tr><td rowspan="9">都道府県設定<br>別冊「テレビをすぐ使う♪」を参照</td><td colspan="3">お住まいの地域の情報を受信するために、地域を登録します。</td></tr>
<tr><td>北海道</td><td colspan="2">札幌,旭川,釧路,室蘭,函館,帯広,北見</td></tr>
<tr><td>東北</td><td colspan="2">青森,宮城,山形,岩手,秋田,福島</td></tr>
<tr><td>関東</td><td colspan="2">茨城,群馬,千葉,栃木,埼玉,東京,神奈川</td></tr>
<tr><td>関東甲信越/北陸</td><td colspan="2">新潟,石川,山梨,富山,福井,長野</td></tr>
<tr><td>中部/東海</td><td colspan="2">岐阜,愛知,静岡,三重</td></tr>
<tr><td>近畿</td><td colspan="2">滋賀,大阪,奈良,京都,兵庫,和歌山</td></tr>
<tr><td>中国/四国</td><td colspan="2">鳥取,岡山,山口,香川,高知,島根,広島,愛媛,徳島</td></tr>
<tr><td>九州/沖縄</td><td colspan="2">福岡,長崎,大分,鹿児島,佐賀,沖縄,熊本,宮崎</td></tr>
<tr><td rowspan="2">設定リセット</td><td>はい</td><td colspan="2">ユーザー設定で設定した下記の項目の内容を消去します。<br>都道府県設定，暗証番号，字幕、文字スーパー設定，ダウンロード設定<br>暗証番号を入力するメッセージが表示されますので、あらかじめ設定しておいた4桁の数字を入力します。工場出荷設定は“1234”に設定されています。</td></tr>
<tr><td>いいえ</td><td colspan="2">メニューページに戻ります。</td></tr>
<tr><td>暗証番号</td><td colspan="3">暗証番号の設定をします。工場出荷設定は“1234”に設定されています。<br>現在の暗証番号を入力 (登録済の番号) → 新しい暗証番号を入力 (お好きな4桁の数字) → 確認入力で再度入力 (新しい暗証番号)</td></tr>
<tr><td rowspan="9">字幕、<br>文字スーパー設定</td><td colspan="3">字幕，文字スーパーを受信しているときのみ機能します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">字幕</td><td>オン</td><td>字幕表示機能をオンにします。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>字幕表示機能をオフにします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">字幕言語</td><td>第一言語</td><td>字幕を第一言語で表示します。</td></tr>
<tr><td>第二言語</td><td>字幕を第二言語で表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文字スーパー</td><td>オン</td><td>文字スーパー表示機能をオンにします。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>文字スーパー表示機能をオフにします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文字スーパー言語</td><td>第一言語</td><td>文字スーパーを第一言語で表示します。</td></tr>
<tr><td>第二言語</td><td>文字スーパーを第二言語で表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ダウンロード設定</td><td>はい</td><td colspan="2">ファームウェアのダウンロード機能をオンにします。</td></tr>
<tr><td>いいえ</td><td colspan="2">ファームウェアのダウンロード機能をオフにします。</td></tr>
</table>

## デジタルTVメニュー：機器設定
(対応入力：デジタルTV)

**地上デジタル放送用**

| 調整項目 | 画面の状態 / 調整ボタン | | |
|---|---|---|---|
| アンテナ設定<br>別冊「テレビをすぐ使う♪」を参照 | 地上デジタル | 物理チャンネルを入力する。<br>画面に表示された受信感度の数値を見ながら、受信感度が最大になるようにアンテナの向きを調節してください。 | |
| リモコン設定 | プリセットチャンネル | 受信チャンネル設定にてチャンネル設定を行なった後に、リモコン番号を他の番号に変更できます。 | |
| 受信チャンネル設定 | 初期スキャン<br>別冊「テレビをすぐ使う♪」を参照 | はい | チャンネルを自動検索します。 |
| | | いいえ | メニューページに戻ります。 |
| | 再スキャン | チャンネル設定後に放送局が新しく開局した時などに使用します。設定済のチャンネルはそのままで、新しく受信したチャンネルを表示します。 | |
| | | はい | チャンネルを自動検索します。 |
| | | いいえ | メニューページに戻ります。 |
| 工場出荷時リセット * | OK | 地上デジタルチューナーを工場出荷設定に戻します。 | |
| | キャンセル | メニューページに戻ります。 | |

* ■ リセット中は画面に何も表示されません。
■ リセットには10分程度かかります。
■ リセット中はテレビの操作をしたり、電源を切ったりしないでください。
■ 地上デジタルの設定は全てクリアされます。
■ 動作に異常が見られない場合は行わないでください。

## デジタルTVメニュー：情報表示
(対応入力：デジタルTV)

**地上デジタル放送用**

| 調整項目 | 画面の状態 / 調整ボタン |
|---|---|
| B-CAS | B-CASカードの情報が表示されます。<br>カード種別<br>カードID<br>グループID |
| ID表示 | 下記の情報が表示されます。<br>地上デジタル放送受信機<br>バージョン |
| メール | 放送局からのお知らせメール（通知）が表示されます。 |

## デジタルTVメニュー：テスト
(対応入力：デジタルTV)

**地上デジタル放送用**

| 調整項目 | 画面の状態 / 調整ボタン | |
|---|---|---|
| B-CASテスト<br>別冊「テレビをすぐ使う♪」を参照 | はい | B-CASカードの動作テストをします。<br>「テスト完了」が表示されたら正常に動作していますので、「OK」を選択し、決定ボタンでメニューページに戻ります。<br>「テスト失敗」が表示されたら、B-CASカードを挿入し直す等をして、再度テストを行いテストを完了させてください。挿入し直しの際は、別冊「テレビをすぐ使う♪」P.7の「B-CASカードの挿入方法」，「B-CASカードの取り出し方法」を参照して行なってください。 |
| | いいえ | メニューページに戻ります。 |

**表示調整**
Image Control
(対応入力：PC)

| 調整項目 | 画面の状態 / 調整ボタン |
|---|---|
| 自動調整<br>Auto Set-up | フェーズ，クロック，位置調整の3項目を自動で調整します。 ▶<br>補足 ■調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。 |
| フェーズ<br>Phase | 模様や文字がにじんだり，ちらついている ▶ ◀ |
| クロック<br>Clock | 模様や文字がにじんだり，ちらついている ▶ ◀ |
| 位置調整<br>Image Position | 左によっている ▶<br>右によっている ◀<br>下によっている ▲<br>上によっている ▼ |

**その他の機能**
Function
(対応入力：PC/アナログTV/コンポーネント/デジタルTV/AV/HDMI/Sビデオ)

| 調整項目 | 画面の状態 / 調整ボタン | |
|---|---|---|
| 言語選択<br>Language | 英語 | 英語表示 |
| | 日本語 | 日本語表示 |
| オールリセット<br>All Reset | Yes | 地上デジタルテレビ以外の設定を工場出荷設定に戻します。 |
| | No | メニューに戻ります。 |
| 情報<br>Information | ソース／解像度／HSync／VSync／バージョンが表示されます。 | |

# 故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「画面操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は２へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、テレビの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。

| 症状 | チェックポイント |
|---|---|
| ① 映像が出ない (電源インジケータ点灯せず) | □ 電源コードが確実に接続されていますか？<br>□ POWER（電源）スイッチが「ON」されていますか？<br>□ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。 |
| (電源インジケータ緑色) | □ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。（PC入力時）<br>□ 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？<br>□ コンピュータの電源は入っていますか？（PC入力時）<br>□ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？<br>□ コンピュータの信号タイミングがテレビの仕様に合っていますか？（PC入力時） |
| (電源インジケータ赤色) | □ 入力ソースの選択は合っていますか？ 入力ソースを切り替えてみてください。<br>□ AV機器やコンピュータの電源は入っていますか？<br>□ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？<br>□ コンピュータの信号タイミングがテレビの仕様に合っていますか？（PC入力時） |
| ② 映像も音声も出ない | □ 入力ソースの選択は合っていますか？<br>□ B-CASカードは正しく挿入されていますか？ |
| ③ テレビ映像は出ずに雑音のみが出る | □ アンテナ線が外れたり、ショートしていませんか？ |
| ④ 地上デジタル放送だけ映像が出ない | □ お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか？<br>□ 地上デジタル放送受信用のUHFアンテナが正しく接地，接続されていますか？<br>□ チャンネル設定は正しく設定されていますか？ |
| ⑤ ビデオ映像が出ない ゲーム画面が出ない | □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？<br>□ 接続先AV機器の電源は入っていますか？ |
| ⑥ 画面が乱れている | □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？<br>□ コンピュータの信号タイミングがテレビの仕様に合っていますか？（PC入力時）<br>□ コンピュータの映像出力レベルがテレビの仕様に合っていますか？（PC入力時） |

| 症状 | チェックポイント |
| --- | --- |
| ⑦ 画面の位置が片寄っている | □ コンピュータの信号タイミングがテレビの仕様に合っていますか？（PC入力時） |
| ⑧ 画面が明るすぎる/暗すぎる | □ コンピュータの映像出力レベルがテレビの仕様に合っていますか？（PC入力時） |
| ⑨ 画面が揺れる | □ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。<br>□ コンピュータの信号タイミングがテレビの仕様に合っていますか？（PC入力時） |
| ⑩ テレビ映像に斑点や縞が出る | □ 自動車・電車・ネオン・コンピュータなどからの妨害電波を受けていませんか？ アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離して設置してください。アンテナ線はコンピュータから離してください。 |
| ⑪ テレビ映像が二重になる | □ 近くに山や大きな建物がある場合、反射電波の影響が考えられます。アンテナの向きや高さを変えてみてください。 |
| ⑫ 雪が降っているような画面になる | □ アンテナ線は確実に接続されていますか？<br>□ アンテナの向きが変わったり、壊れていませんか？ |
| ⑬ 画面が青くなる | □ 選択されている入力信号がきているか確認してください。 |
| ⑭ 音が出ない | □ 音声ケーブルのプラグが確実に接続されていますか？<br>□ ヘッドフォンが接続されていませんか？ ヘッドフォンを外してください。<br>□ 音量が最小になっていませんか？ 音量調整ボタンで調節してください。<br>□ 消音になっていませんか？ リモコンの消音ボタンを押してみてください。 |
| ⑮ リモコンが操作できない | □ リモコンの電池が消耗していませんか？<br>□ リモコンの電池の向きは正しいですか？<br>□ 蛍光灯などの強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？<br>□ リモコンとリモコン受光部の間に障害物はありませんか？ |

# クリーニング

**警告** ■ 万一、テレビ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはカスタマケアセンターサポート・修理受付にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

**注意** ■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足

■ パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■ キャビネットやパネル表面を痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。

・シンナー
・ベンジン
・研磨剤
・スプレークリーナー
・ワックス
・酸性、アルカリ性の溶剤

■ キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

**キャビネット** 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

**パネル表面** 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

# アフターサービス

## 保証書/保証期間について

■ 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。

■ 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証期限は本体お買い上げ日より1年間です。
液晶パネルおよび光源のバックライトの保証期限も1年間です。
また、保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。詳しくは、保証書裏面の＜保証条件＞をご確認ください。

## 修理サービス

■「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付へご連絡ください。

■ 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、テレビが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずカスタマケアセンター サポート・修理受付までご連絡ください。

■ 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付にご相談ください。

## リサイクル/廃棄について

■ 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

■ リサイクル／廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧いただくか、カスタマケアセンターリサイクル受付へお問い合わせください。

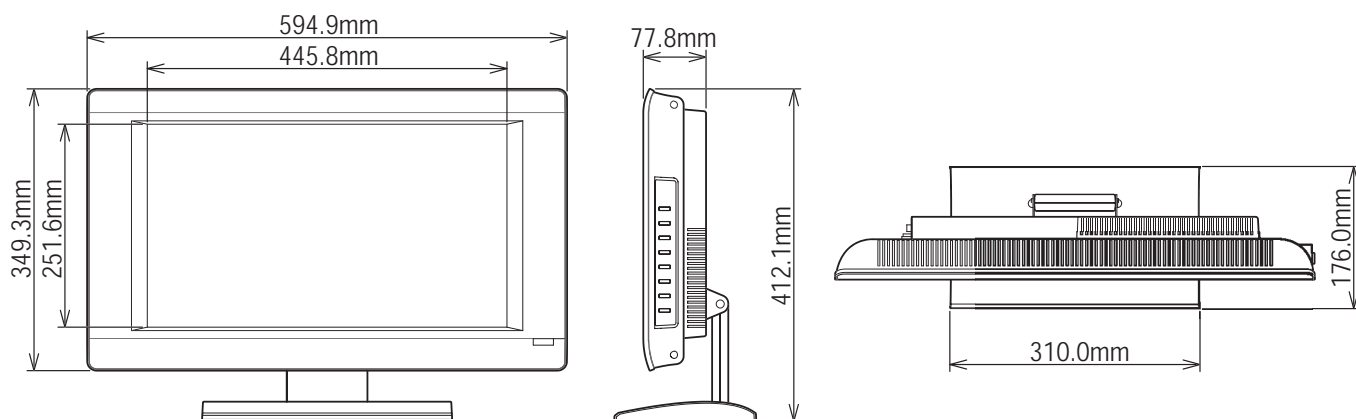
リサイクル／廃棄についてのお問い合わせ
**カスタマケアセンター リサイクル受付**
TEL　0269-81-2072
FAX　0269-81-2231

# 付録

製品仕様は、予告なく変更する場合があります。

## 製品仕様

| 項目 | | | 仕様 |
|---|---|---|---|
| 液晶パネル | サイズ | | 対角：50.9cm／20.0″ |
| | 画素ピッチ | | 水平 0.32475mm×垂直 0.32475mm |
| | 最大表示色 | | 約1,620万色 |
| | 解像度 | | 1366×768 |
| | 輝度 | | 450cd/$m^2$ |
| | コントラスト比 | | 700：1 |
| | 視野角 | | 水平 160°/垂直 140° |
| | 応答速度 | | 8msec（G to G） |
| 映像入力コネクタ | | PCアナログ | D-SUBミニ15ピンコネクタ×1 |
| | | HDMI | HDMI端子×1 |
| | | ビデオ | RCAピンジャック（ビデオ）×1、S映像端子×1 |
| | | コンポーネント | D4映像端子×1 |
| オーディオ端子 | | PCオーディオ入力 | φ3.5mmステレオミニジャック×1 |
| | | ビデオ音声入力 | RCAピンジャック（音声L/R）×3 |
| ヘッドホン端子 | | | φ3.5mmステレオミニジャック×1 |
| 地上デジタルファームウェア書き換え用 | | | USBポート×1 |
| B-CASカード | | | B-CASカードスロット×1 |
| PC | 入力周波数 | | 水平：30-64KHz / 垂直：60-71Hz |
| | プラグ＆プレイ | | VESA DDC2B™ |
| ビデオ | ビデオ信号方式 | ビデオ | NTSC |
| | | S映像 | NTSC |
| | | D端子 | 480i / 480p / 720p / 1080i |
| | | HDMI | 480p / 720p / 1080i |
| テレビ | チューナー | 地上アナログ | VHF / UHF、75Ω、不平衡 |
| | | 地上デジタル | UHF、75Ω、不平衡 |
| | 受信可能放送 | 地上アナログ | VHF：1～12、UHF：13～62、CATV：C13～C63 |
| | | 地上デジタル | UHF：13～62（000～999） |
| スピーカー | | | 3W×2 |
| 電源 | 電源入力 | 電源電圧 | AC 100V |
| | | 電源周波数 | 50/60Hz |
| | 消費電力 | | 65W（最大） |
| 重量（スタンド含） | | | 13kg |
| 外形寸法（スタンド含） | | | 594.9×412.1×176.0mm（幅×高さ×奥行き） |
| 最大表示範囲 | | | 水平：443.61mm×垂直：249.41mm |
| 角度調節範囲 | | | 上方向 15°　下方向 5° |
| 環境条件 | | | 動作時の温度：5～35℃<br>保管時の温度：−10～60℃<br>湿度（−10～40℃未満時）：10～65%（結露なきこと）<br>湿度（40～60℃時）：10～90%（結露なきこと） |

## 外形寸法図

## 対応信号タイミング　**PC入力時**

| ビデオモード | | 水平周波数 | 垂直周波数 | ドットクロック |
|---|---|---|---|---|
| VESA | VGA　640×480 | 31.469kHz | 59.940Hz | 25.175MHz |
| | SVGA　800×600 | 37.879kHz | 60.317Hz | 40.000MHz |
| | XGA　1024×768 | 48.363kHz | 60.004Hz | 65.000MHz |
| | WXGA　1360×768 | 47.710kHz | 60.020Hz | 85.500MHz |
| | SXGA　1280×768 | 63.981kHz | 60.020Hz | 108.000MHz |
| VGA TEXT | 720×400 | 31.465kHz | 70.087Hz | 28.322MHz |

本製品はVESA規格のDDC2Bに対応しています。DDC2B対応のコンピュータと信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ＆プレイ機能が動作します。

## 用語の説明

### ● インターレース（飛び越し走査）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次に偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（スレーム）を作っていく飛び越し走査方式のことです。

### ● 枝番

地上デジタル放送では、通常は3桁の番号で放送局を特定できますが、お住まいの地域により、隣接する地域の放送を受信してしまい、割り当てられる3桁のチャンネル番号が重複する場合があります。この場合もう1桁の数字（枝番）を追加して表示されます。

### ● コンポジット接続

通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、普通黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

### ● 走査線

テレビは、映像を細かい横線に分解して送ることで画面を構成しています。この線のことを走査線と呼び、走査線の本数が多いほど高精細な画像を映すことができます。走査線の方式はインターレースやプログレッシブなどがあります。
・480i(525i)：走査線525本，インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）と同等の画質です。
・480p(525p)：走査線525本，プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。
・720p(750p)：走査線720本，プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
・1080i(1125i)：走査線1125本，インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

### ● 地上デジタル放送

2003年12月から一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン放送や文字や画像などのデータ放送などがあります。

### ● デジタルハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は750本や1125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。

### ● 物理チャンネル

地上デジタル放送は、UHFの電波を使って行なわれます。この電波は放送局ごとに割り当てられており（13～62ch）、そのチャンネルを物理チャンネルと呼びます。

### ● プラグアンドプレイ

パソコン入力時に本体に周辺機器を接続した時、その周辺機器を認識して設定に必要な情報を自動的に読み込む機能です。

### ● プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（インターレース）をしないで、全ての走査線を順番通りに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。インターレース方式に比べ、チラツキがなく、文字や静止画の表示に適しています。

### ● 16:9

デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

### ● CATV（ケーブルテレビ）

ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しています。

### ● D端子

高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（$C_B/P_B$，$C_R/P_R$）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号の他にも映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本テレビはD4に対応）、数字が大きいほどより高画質な映像に対応できます。

### ● HDMI

テレビ接続機器のデジタル映像・音声信号をつなぐインターフェイスです。
HDMI端子（DVDプレーヤー，AVアンプなど）とテレビを1本のケーブルで接続することで高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

### ● NTSC

現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本，アメリカ，韓国，カナダ，メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数525本のインターレース方式です。

# ユーザー登録のご案内

iiyamaでは、皆様へのサービス向上と常により良い商品をお届けするため、ユーザー登録にご協力をお願いしております。

## ご登録方法

### インターネットによる登録

[http://www.iiyama.co.jp/user/touroku.htm] へアクセスし、画面の指示に従い登録してください。（あらかじめインターネットができる環境が必要です。）

※ インターネット接続料金、電話料金などの通信費用はお客様負担となります。
※ 登録完了の通知は行いませんのでご了承願います。

# お客様の個人情報の取り扱いについて

株式会社iiyama（以下「iiyama」といいます）は、ユーザー登録時にご登録いただいたお客様の個人情報ならびにお客様がiiyama製品のサポートサービス等を利用した際の履歴について、下記に従って適切に利用，管理いたします。（以下、お客様の個人情報とサービス等の利用履歴を「お客様情報」といいます。）

## お客様の個人情報の管理および利用について

**1.iiyamaは、お客様の個人情報を以下の目的で利用させていただきます。お客様の同意なく下記目的以外の使用はいたしません。**

(1)サービスおよびサポートの実施・提供（製品の保証、修理など）
(2)電子メールによる製品やサービスに関するキャンペーン情報の提供
(3)お客様を特定できない形式での販売統計データの作成

**2.弊社は以下の場合を除いて、お客様の同意なく当該個人情報を第三者に提供しません。**

(1)上記のお客様情報の利用目的のために、グループ会社に業務委託を委託する必要がある場合
(2)法令等に基づいて開示が要求される場合
なお、iiyamaは当該グループ会社に対して、お客様情報の安全管理および使用目的の遵守を徹底いたします。

**3.弊社は、ご登録いただいたお客様情報の漏洩，流出防止の管理を徹底いたします。**

**4.登録個人情報の参照，訂正，削除をご希望の場合は、カスタマケアセンター　サポート・修理受付までお問い合わせください。電子メールによる各種情報の配信は、お客様の要請があれば停止いたします。**

＊16歳未満のお子様の個人情報については、必ず保護者の方が同意した上でご提供頂きますよう、お願いいたします。

カスタマケアセンター サポート・修理受付
TEL ：03-3570-6374
FAX ：03-3570-6375

〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきカスタマケアセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付に保証書をご提示の上依頼してください。
   尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
   (1) 保証書をご提示されないとき。
   (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
   (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異，公害や異常電圧による故障または損害。
   (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
   (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
   (6) 中古販売の製品。
   (7) 液晶パネルおよびバックライトの経年劣化。
   (輝度の変化，色の変化，輝度と色の均一性の変化，焼き付き，欠点の増加など。)
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはカスタマケアセンター サポート・修理受付までお問い合わせください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています

# 保証書

## 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

本保証書は、本記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。本保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから必ず型名、製造番号、お買い上げ日、お客様名、ご住所、電話番号、販売店名の記入をご確認ください。
また、保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。詳しくは、裏面の<保証条件>をご確認ください。

| 型名　　　　　　　製造番号 | 販売店名・住所・TEL・担当者 |
|---|---|
| 保証期間：1年 | |
| お買い上げ日　　　　年　　月　　日 | |
| お客様名 | |
| 住所　〒<br><br>TEL　　　　（　　） | |


## 株式会社 iiyama

製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ
### カスタマケアセンター　サポート・修理受付
■月曜日～金曜日　9:00～17:00（但し、弊社指定休日は除く）
TEL　03-3570-6374
FAX　03-3570-6375

修理・点検製品の送付先
### カスタマケアセンター
〒389-2234　長野県 飯山市木島 500
TEL　0269-81-2230
FAX　0269-81-2231


特定化学物質の含有情報は下記の弊社ホームページに記載しています。
URL: http://www.iiyama.co.jp/support/eco/jmos/index.html

サポートの最新情報(連絡先等)は弊社ホームページに記載しています。
お問い合わせの前に、ホームページにてご確認ください。
URL: http://www.iiyama.co.jp/

M017A02